



みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布



ちようふ

令和4年(2022年)
No.1726

11/20

CONTENTS(主な内容)

- キャッシュレスで最大20%戻ってくるキャンペーン……………2
- 新型コロナワクチン……………3
- 令和3年度の決算状況……………4
- 12月はパラハート月間(障害者週間)……………8・9
- 秋の叙勲・市政功労者表彰……………16



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
☎042-300-3131

12月はパラハート月間(障害者週間)

障害のある人も、ない人も

障害者スポーツに チャレンジしてみよう!



パラハート
ちようふ

つなげよう、ひろげよう、
共に生きるまち

障害への関心と理解を深め、障害者があらゆる分野の活動に参加することを促進するため、
毎年12月3日～9日は障害者週間と定められています。

市は、誰もがスポーツに親しむことができるように、障害者スポーツの振興に取り組んでいます。
この機会に障害者スポーツの魅力に触れてみませんか。

関スポーツ振興課 ☎481-7496

詳細は8・9面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 411



遠い昔は悟りの境地か

高校の漢文の授業時、四書の一つである論語を取り上げた折に先生がこう言われた。三十にして立つ。四十にして惑わず。と続き、七十の解説になった時、「従心。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず。つまり孔子は、『七十歳の時に、自分がしたいと思う言動をそのまま行為に表しても、人の道を踏み外すことがなくなった』と悟りを開いたようなことを言ったんだが、ちよつと異論があるな。そして、ほんの少し間を置いて、『そもそも七十にもなったら、そんなことは孔子でなくとも当たり前だろう』。そこでクラス一同大爆笑。

厚生労働省によると、2021年の日本人の平均寿命は、女性が88歳（四捨五入以下同様）、男性が81歳。したがって70歳はまだまだ先のある通過点と言える。しかし、以前は大きく事情が異なり、たとえば調布市が誕生した昭和30（1955）年には、女性68歳、男性64歳で、70歳は長寿の一つの目安だった。実はあと数日で私は、遠い昔には古来稀なりと言われた人生の節目に到達するのだが、実感はあまりない。来し方を振り返ると、自分自身ではさまざまなことにそれなりに懸命に取り組んできたつもりではあるが、必ずしも首尾よく成就したことばかりではなく、道を踏み外すことばかりに自らの達観した思いを披瀝する気にはまだならない。それでも七十になれば、眼前に広がる人生の景色が何らかの変化を見せるのだろうか。はてさて。

調布市長
友友貴樹